

**Cancer
Science**

The official journal of the Japanese Cancer Association



Cancer Science モーニングレクチャー

英語論文の執筆と投稿について

間野博行

Editor, *Cancer Science*

自治医大・医・ゲノム機能

東大・院医・ゲノム医学



Editorの視点

英語論文の書き方

英語がよいからといって

論文は通らない!

「こうすれば採択される英語論文」や
「採択されやすい英語表現」
などというものは絶対にない!

しかし…

英語があまりにひどくて
査読する気が失せる論文はある

つまり、ひどい英語のため公正な審査を
受けられないことがある

つまり

「一定レベルの英語力」

は論文が採択されるための

必要条件

どうすればよいか？

- ・英語力をつける
プロの英語校正に頼もう！
- ・しかし、付け焼き刃は不可能

しかし、それは最後のステップ....

英語校正者が
「何を書いているのか
わからない英語」
があまりに多い

It is presumed that A may be C and D and lots of E are markedly suppressed but F is sometimes....

どこが文の区切りか、最初のthat節はどこまで続くのか、など文の構造が全くわからない

→ 何が言いたいかわからない

日本語は文章構造が「構造的」になっていなく、助詞や接続詞が「瞬間接着剤」の役目をして何でも繋いでしまう

→ 日本語をそのまま英語にしてはダメ

手っ取り早い改善策

慣れるまでは、一文を
できるだけ短く!

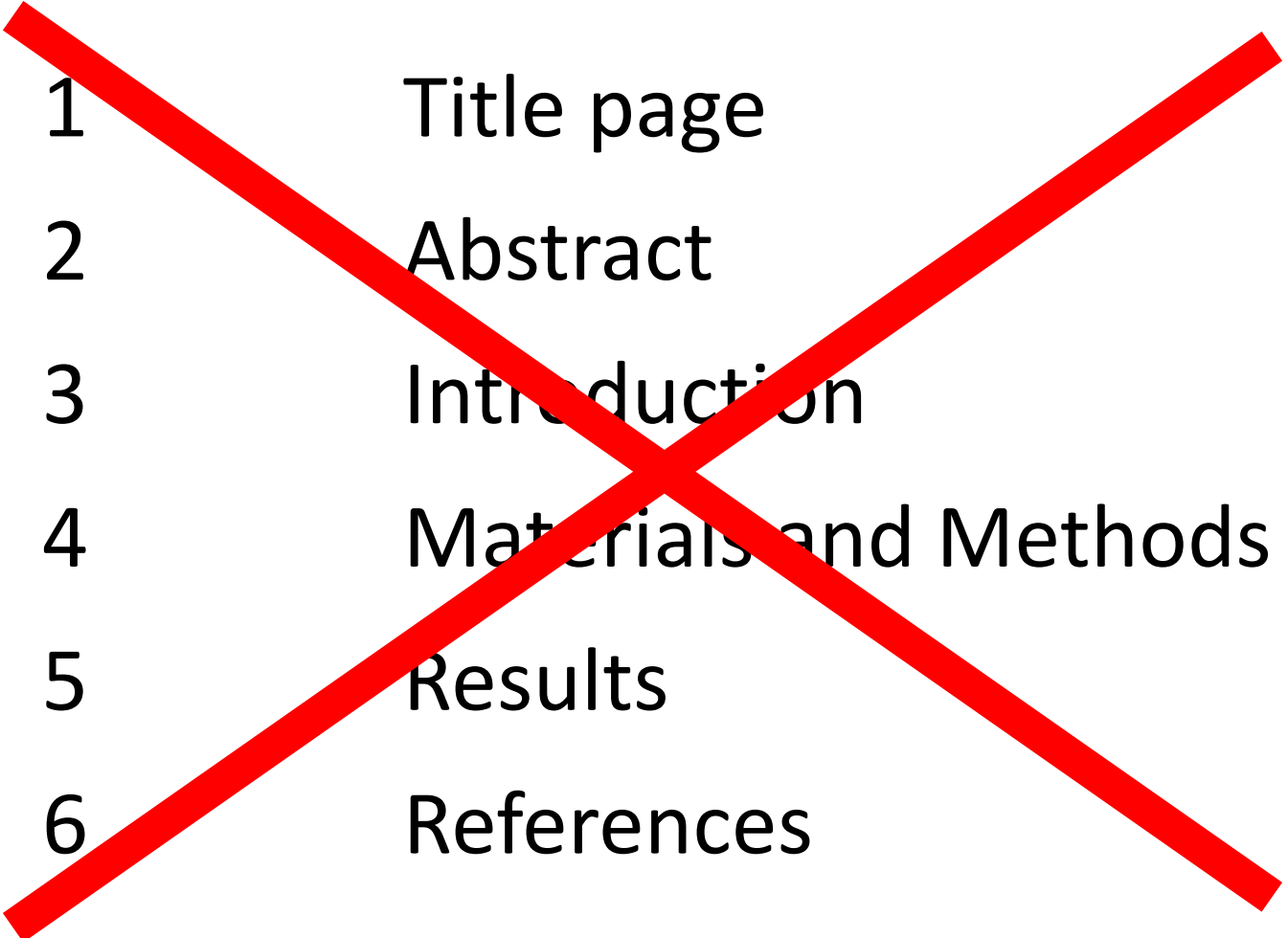
一つの文に主語と述語を
一つずつ

本質的な改善策

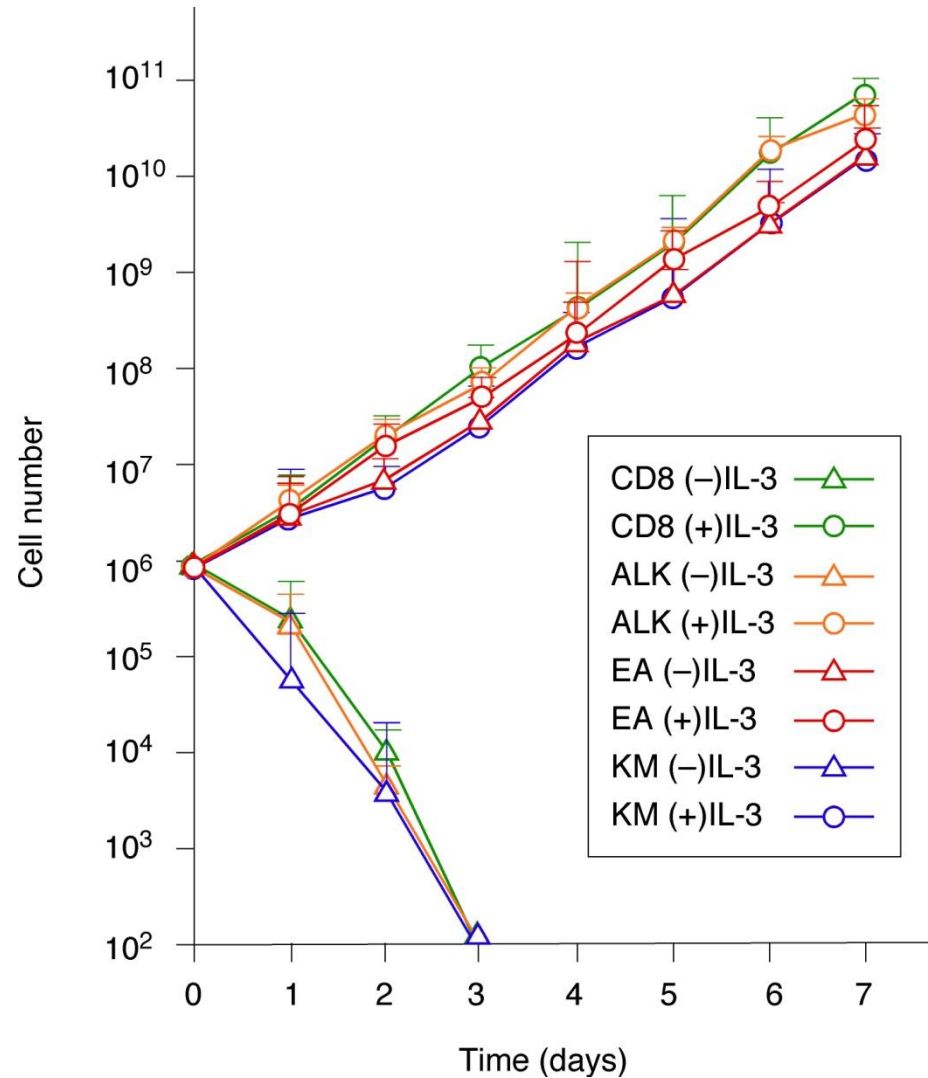
構造の明瞭な思考を
しよう！

構造の明瞭な論文を書こう!

英語論文をどのように作るか

- 1 Title page
 - 2 Abstract
 - 3 Introduction
 - 4 Materials and Methods
 - 5 Results
 - 6 References
- 

まずFiguresから作ろう！



なぜFiguresから作るか？

自分が持っているデータの全容が
整理される（頭の中でも）



- 図の構成を考えることで、論文の Resultsの最適な構造が明らかになる
- 足りない実験が明らかになる

次は論文全体の構造を アウトラインで作ろう！

I Introduction

- 1 肺がんの予後、肺がんの原因遺伝子
- 2 EGFR 変異と EGFR 阻害剤
- 3 他のチロシンキナーゼ阻害剤
- 4

II Results

Figure 1 レトロウイルスによる EML4-ALK 遺伝子同定
この図で議論すべき点

- a) 患者の臨床的特徴
- b) cDNA 発現ライブラリーの特性
- c) 3T3 が患者ライブラリーで transform する
- d) EML4-ALK の cDNA サイズ、予想タンパクサイズ
- e) 両遺伝子の染色体上の位置
- f) 実際に inv(2p)がおきている証拠
- g)

注意ポイント

論文内で同じ記述を繰り返さない！

IntroductionとDiscussion, あるいは
ResultsとDiscussionでredundantな
表現が多い

Introduction: 扱っているテーマ・遺伝子の背景、なぜ
この実験が必要か

Discussion: 得られた結果の意味すること、得られた
結果の原因の考察、結果の更なる応用

英語論文を書こう！

アウトラインを基に直接英語で書き始める
(日本語論文を作った上で訳すのはダメ)

いくつかの細かい注意点

1 文語体の単語（英古語由来）を使う

But → However, while, although

So → Therefore, Thus

At 日付 → As of

2 “We”または“I”を主語に使う文 を多くしない

解析対象を主語にした受動文が基本的な
フォーマット

We made a cDNA library from the specimen. Then, we isolated a cDNA, and we determined its nucleotide sequence.



We made a cDNA library from the specimen. Screening of the library isolated a cDNA, nucleotide sequencing of which revealed that

3 同じ単語を繰り返さない

不自然にならない程度に重複を避ける

We isolated an *EML4-ALK* cDNA. The *EML4-ALK* cDNA encodes a protein-tyrosine kinase. The *EML4-ALK* protein-tyrosine kinase has an elevated tyrosine kinase activity.



We isolated an *EML4-ALK* cDNA. This fusion cDNA encodes a protein-tyrosine kinase with an elevated enzymatic activity.

最後のステップ

プロの英語校正に頼もう!

投稿先ジャーナルの選定

正しいジャーナルを選択することが大切

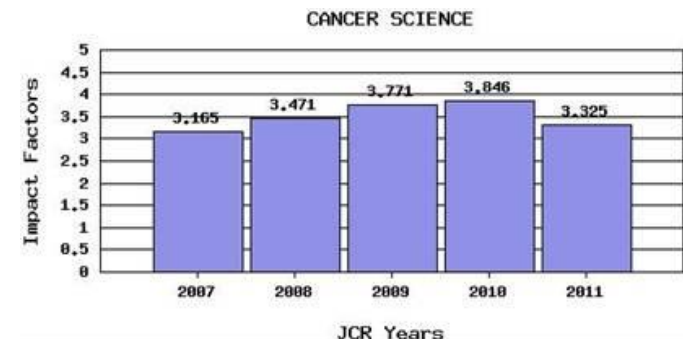
1. Aims and Scopeを読む
2. 投稿規程を読む
3. どのIndex& Abstract サービスに収載されているか
4. どれだけ広く読まれているか

*Cancer Science*は....

- 創刊103周年
- Impact Factor: 3.325 (Oncology分野 67位/194誌)
- 投稿受理～初回判定: 16日 (原著の場合)
- オンライン版は、出版後12カ月で無料公開
- 世界4,100以上の図書館にオンライン配信
- 3,800以上の発展途上国図書館にも配信
- 年間のフルテキストダウンロード数: >406,000



The most cited cancer journal from Asia



投稿数・採択数: *Cancer Science*

2009-2011年

	2009	% Acceptance rate	2010	% Acceptance rate	2011	% Acceptance rate
Total Submission	1109	-	1346	-	1341	-
Accepted	405	40 %	339	28 %	305	25 %
Accepted (日本人の論文)	248	65 %	219	49 %	182	45 %
Accepted (外国人の論文)	157	25 %	120	16 %	123	15 %
Reject/expired/pending/ lapsed	704	63 %	1007	75 %	1036	77 %

投稿～First decisionにかかる日数： Original Articleでは...

	2009	2010	2011	2012
Submission to first decision	22日	19日	17日	16日

Aims and Scopeとは？

Aims and Scope:

ジャーナルの目的

ジャーナルの取り扱い領域・分野

論文種別 (総説, 原著, 症例報告など)

投稿前に必ず目を通し、自身の研究内容とあっているかを確認する

→ 論文内容が素晴らしくとも、Aims and Scopeに合わない論文はRejectされる

投稿規程とは？

ジャーナルごとに投稿規程があります。

→ 最新の投稿規程を入手しましょう

投稿規程に書かれていること:

論文執筆に必要な情報

別刷り

出版費用

オプションサービス

著者が利用できるサービスは…
(一部有料)

- Color on Web
- 無料PDF offprint
- Offprint (冊子別刷り、有料)
- Author Service
- Accepted Article
- Early View
- Online Open (オープンアクセス、有料)

*Cancer Science*の最新の投稿規程は Journal Home Page からダウンロードできます
<http://onlinelibrary.wiley.com/journal/cas>

論文作成 : Covering letterの準備

Cancer Science の場合 :

- *Cancer Science*への掲載を希望して投稿
また学会やシンポジウムのプロシーディングスで抄録として発表された以外、
他のジャーナルに掲載済み、あるいは投稿中でないこと
- すべての著者が同等に貢献し、論文内容に同意
- corresponding authorの連絡先
- 転載許可取得の有無
- The salient and novel findings of the paper in a concise paragraph.
- 掲載分野 (ジャーナルが指定する9分野より選択)
- 文字数制限を超えている場合、その理由
- Case Reportsにおいては、informed consentの有無について

利益相反 *Disclosure Conflict of Interest*

*Cancer Science*では、全論文、全著者に 利益相反の開示を求めています

開示条件:

1. Employment/Leadership position/Advisory role (JPY1,000,000 /US\$10,000 or more)
2. Stock ownership
(Profit of JPY1,000,000/US\$10,000 or more/ownership of 5% or more of total shares)
3. Patent royalties/licensing fees (JPY1,000,000/US\$10,000 or more)
4. Honoraria (e.g. lecture fees) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
5. Fees for promotional materials (e.g. manuscript fee) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
6. Research funding (JPY2,000,000/US\$20,000 or more)
7. Others (e.g. trips, travel, or gifts, which are not related to research)
(JPY500,000/US\$5,000 or more)

近日中に、一部改訂予定。

*Cancer Science*には、ジャーナル独自の利益相反ガイドラインがあります:

http://www.blackwellpublishing.com/pdf/CAS_COI_policy_updated_on_18Nov.pdf

投稿時に提出するフォーム:

http://www.blackwellpublishing.com/pdf/CAS_COI_form_and_example_updated_on_18nov.pdf

Editor, 査読者のコメント: 返信

返信するとき.....

1. 質問やコメント一つ一つに明確に答える
2. 個人攻撃や防衛行動を避ける
3. 丁寧に、卑屈にならないように
4. コメントにはその順番どおりに返信する
5. どんな変更がされたか明記
6. 提案を取り入れない、追試を行っていない→理由を明記
7. 科学的証拠、根拠を示す
8. 提案された変更不同意の場合
→Editorに異議を唱える、
あるいは、取り下げて他誌に投稿

出版倫理の遵守 *Publication Ethics*

出版倫理に反した論文が増加

→ 論文のRetraction, 所属機関での処分などキャリアを失うことも...

- 二重投稿
- 二重出版
- 盗作
- データ捏造・改ざん
- 著作権侵害

出版倫理に関する情報はCOPEウェブサイトへ
Committee on Publication Ethics (COPE)

<http://publicationethics.org/>

*Cancer Science*では、悪質なケースが発覚した場合には
著者の所属機関への連絡と調査依頼、一定期間の投稿禁止措置をとります
(詳細は、投稿規程の*Duplicate Publication and Scientific Fraud*)

参考文献

Wiley-Blackwell Author Services

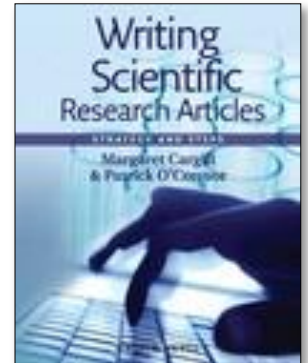
<http://authorservices.wiley.com/>

Writing a Paper by George Whitesides, Advanced Materials (available on <http://materalsviewschina.cn>)

Writing Scientific Research Articles: Strategy and Steps by Margaret Cargill, Patrick O'Connor, April 2009

How to Write a Paper, 4th Edition edited by George M. Hall (Editor), February 2008

Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals by ICMJE, April 2010 (http://www.icmje.org/urm_main.html)



ご清聴ありがとうございました。

本日の *Cancer Science* モーニングレクチャー資料は
日本癌学会ホームページ上にアップされる予定です。